



# 産科だより

康心会汐見台病院

令和元年

急に寒くなり始めましたね。体調不良者があ

ちらこちらで出始めています。台風での被災地

でもノロウイルスが出ており、被災地の感染対

策も急務です。毎年話題になるインフルエンザ

もすでに東京都では流行期に入っています。(流

行期とは、1医療機関あたりの新規患者数が1.

0を超えることをいいます。)横浜市全体ではま

だ流行期の発表はありませんが、9月中旬にす

でに学級閉鎖の報告があります。当院職員も1

0月末に予防接種を実施しました。米疾病対策

センター(CDC)の発表では、南半球での状

況を鑑みると北半球での流行が早まると考えら

れると伝えていて、ただちに予防接種を受ける

べきであるとする警告を発信しています。今シ

ーズンのワクチンは今年のインフルエンザ株に

合わせて、昨年ものから変更されており、こ

れまでの株との適合性も高いとみられています。

CDCはインフルエンザの流行時期は予測

不可能として、流行が始まる10月がワクチン

接種に最も適した時期と伝えていきます。特に5

歳未満の幼児、65歳以上の高齢者、妊娠中の

女性、糖尿病、心疾患、喘息などの慢性疾患が

ある人は合併症のリスクが高いため、とくに早

めの予防対策をおすすめします。

◆新しいエコーが導入されました。

外来で使用するエコー(超音波)検査の機械

が新しいものになり、より鮮明に、より細かく

見られるようになりました。その新しい機械で

撮ったものがこの2枚の写真。

赤ちゃんの近くに小さい円形のがみえま

す。(赤い矢印)これは卵黄嚢といえます。これ

は妊娠初期の赤ちゃんが持つていて、栄養が詰

まったお弁当のようなものです。鶏の卵でい

黄身の部分。この写真の子は9週4日。卵黄嚢

は早ければ妊娠5週くらいにみえる子もいて、

真ん中が黒くて、輪っかのように見えているか

と思います。大きくなってくると、この卵黄嚢

はなくなっていくます。なぜかという、胎盤

ができ始め、栄養をへその緒を通じてもらえる

ようになるからです。胎盤は妊娠してすぐにで

きるわけではなく、妊娠15週頃に完成します。

それまでは卵黄

嚢というお弁当

から栄養補給し

て大きくなって

いくわけです。

2枚目は12

週の赤ちゃんを

横から写した姿

右側が頭になり

ます。この頃か

らしっかり人間



◆今月の赤ちゃん

令和元年10月23日

18時24分産まれた元

(げん)くんです。前日の早

朝にママが入院し、長時間

陣痛に耐え、促進剤を使用

し、入院してから36時間

ほどでようやく会えました。

分娩室に入ってから17

分と早かったようです。元

くんという名前は「元氣」

「令和元年」「元素のよう

に重要な存在になって欲しい

い」という様々な由来が込められているようです。また、名字

の画数から考えると、残り4画しか使えなかったそうです。そ

こで、名前の響きも良いため夫婦で考えて元くんになったそう

です。由来通り、元氣いっぱいになりますように。



らしい形になってきます。胎動と

してはまだわかりませんが、エコ

ーで身体を動かしている姿が見ら

れる頃で、髪の毛が生え始めたり、

まぶたがきたり、耳の形が整っ

てきたりと、身体の部位が作られ

る時期でもあります。これから健

診でエコーを受けられる方は赤

ちゃんがどんな動きをして、前回の

健診からどこまで身体ができて、

成長したのか見てあげて下さい。

